



いきいき和歌山がんサポート理事長 谷野裕一

がんになっても いきいきと!

99 臨床試験のサポート

ければなりません。で、試験をするため
 コロナの薬もやってにはサポートが必要
 ましたよね。きちんです。私は、トリプ
 とやってくれていたルネガティブ乳がん
 ら安心です。しかの臨床試験を今もし
 し、データを作るはていますが、今度は
 ずの医師は、臨床試そんな医師を助ける
 験のやり方を学校で逆の立場になりまし
 習う訳ではないのた。サポート側にな
 る医師はまだまだ少
 ないですが、実際に
 やったことがある
 と、どこが大変なの
 か分かってるもの
 で、実際に基づいた
 サポートができる
 と思っています。楽し
 みて。
 さて、コロナです
 が、どんどん増えて
 ますね。若い人や子
 どもでは、重症化は
 かなり少ないので
 す。しかし、今後高
 齢者が増えてくると
 どうなるのでしょうか
 ね。そこが気がかり

「ことし初めての
 」がんになってもし
 きいきと」ですね。
 あらためて、ことし
 もよろしくお願いし
 ます。特に、ことし
 は1月から和歌山医
 大で働くことになっ
 たので、新たな年を
 迎えることになりま
 した。臨床研究セン
 ターの支援部門にい
 ます。

「こは、臨床試験
 を行う先生方のサポ
 ートをする部門で
 す。臨床試験とは、
 実際の患者さんで、
 どんな治療をしたら
 どんな効果が出るの
 か、どんな副作用が
 出るのかを見ること
 をいいます。臨床試
 験の質が悪いとせつ
 かくの薬がうまく使
 えませんか、きちん
 とした試験をしな

です。それと、病院
 で感染すると良くな
 いので、医療関係者
 の自身の管理が大変
 です。子どもや同居
 者が感染して、濃厚
 接触で休む医療者が
 増えてきています。
 これまでは波が来る
 たびに、いろんな病
 院でがんの手術が止
 まったりしてしまし
 たが、今回もかなり

波が高いので、医療
 者不足で救急や手術
 がストップする可能
 性が高いと思いま
 す。
 しかしその一方
 で、オミクロンは増
 加も早いけれど減少
 するのも早いよう
 です。それにワクチン
 の3回接種が始まっ
 ています。ワクチン
 が追いつけば収束は
 早いと思います。二
 ユースでやっていま
 したが、3回接種し
 ている方はほとんど
 入院がなく、2回完
 了の方で時々酸素投
 与が必要な人がい
 て、重症化する人の
 ほとんどがワクチン
 未接種だそうです。
 ぜひ、和歌山でもワ
 クチンの普及を頑張
 ってほしいと思いま
 す。でも、和歌山は
 ワクチンは最もスム
 ーズだったので、心
 配ないですね。自分
 たちを守るために、

職場はできるだけリ
 モートにする、食事
 のときにマスク無し
 の会話をしないな
 ど、しっかりやって
 いればそれほど感染
 しません。あとしば
 らくですから気を付
 けていきましょー!